

| | | | |
|----------------|-----------------|---------------------|-------|
| 薬 | 2017年5月改訂 | 動物用医薬品 | 250mL |
| 貯法：避光して2～10℃ | 動物用生物学的製剤 | 承認番号：農薬用 24動物薬第665号 | |
| 有効期限：製造後2年3ヵ月間 | 劇薬 要指示医薬品 指定医薬品 | 販売開始：2002年4月 | |

日生研EDS不活化ワクチン

(一般的名称：産卵低下症候群-1976 (アジコ)バント加)不活化ワクチン(シード)
製造番号

有効成分(ワクチン1本中)
産卵低下症候群-1976ウイルス
BK-87株(シード)
(不活化後赤血球凝集力価) 最終有効年月
512HAU以上

注意—獣医師等の処方箋・指示により使用すること。

使用説明書

(使用前に必ず本使用説明書を読み、注意事項を守って使用して下さい。)

【本質の説明又は製造方法】
本剤は、産卵低下症候群-1976ウイルスBK-87株を増殖させた養育鶏卵の眼膜腔液にホルマリンを加えて不活化し、さらに水酸化アルミニウムゲルを加えたものである。本剤は静置の状態では沈殿を認めるが、振り混ぜると黄白色ないし緑黄白色不透明の均質な懸濁液となる。pHは7.5～8.3である。

【成分及び分量】
ワクチン1本(250mL)中：産卵低下症候群-1976ウイルスBK-87株(シード)(不活化後赤血球凝集力価)512HAU以上、ホルマリン0.5mL以下、水酸化アルミニウムゲルアルミニウム量として 250mg～750mg、リン酸緩衝食塩液 残量

【効能又は効果】
産卵低下症候群-1976の予防

【用法及び用量】
60日齢以上の鶏の筋肉内に0.25mLを注射する。

【使用上の注意】
(基本的事項)

[守らなければならないこと]

(一般的注意)
1. 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
2. 本剤は定められた用法・用量を遵守すること。
3. 本剤は効能・効果において定められた目的のみ使用すること。
(使用者に対する注意)
作業後は、石けん等で手をよく洗うこと。
(箱に関する注意)
1. 本剤の注射前には健康状態について検査し、重大な異常(重篤な疾病)を認めた場合は注射しないこと。
2. 鶏が、次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質等を考慮し、注射の適否の判断を慎重に行うこと。
・元気が消え、食欲不振、発熱、下痢、呼吸器症状又は重度の皮膚疾患など臨床異常が認められるもの。
・疾病の治療を経済中のもの又は治療後間がないもの。
・明らかに栄養障害があるもの。
・他の薬剤投与、導入又は移動後間がないもの。
(取扱い及び廃棄のための注意)
1. 本剤又は内容に異常を認めないものは使用しないこと。2. 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。3. 本剤には他の薬剤(ワクチン)を加えて使用しないこと。4. 小児の手が届かないところに保管すること。5. 直射日光又は凍結は、品質に影響を与えるので避けること。6. 注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと(ガス滅菌によるものを除く)。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、常温まで冷えたものを使用すること。7. 使用前よく振り混ぜて均一とする。また、使用中も時々振り混ぜること。8. 本剤容器のゴム栓は、70%アルコールで消毒し、滅菌済みの注射針をゴム栓から押し込み、ワクチンを注射器内に吸引して使用すること。ゴム栓を取り外しての使用は、雑菌混入のおそれがあるので避けること。9. 使用済みの容器は、地方公共団体条例等にない処分すること。10. 使用済みの注射針は、前回収用の専用容器に入れること。前回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物処理業者及び有害廃棄物処理業者の許可を得た業者に委託すること。
(使用に際して気を付けること)

(使用者に対する注意)
1. 誤って人に注射した場合は、患部の消毒等適切な処置をとると、誤って注射された場合は、必要があれば、使用説明書を持参し、受備について医師の診察を受けること。

(反対側の説明事項も必ずお読み下さい。)

日生研株式会社 東京都青梅市新町9丁目2221番地の1

日生研EDS不活化ワクチン

| 本ワクチン成分の特徴 | | | | |
|------------------|------------|---------|--------|----------|
| 微生物名 | 抗原 | | アジュバント | |
| | 人獣共通感染症の当否 | 微生物の生・死 | 有無 | 種類 |
| 産卵低下症候群-1976ウイルス | 否 | 死 | 有 | アルミニウムゲル |

2. ワクチン容器は破損するおそれがあるので、強い衝撃を与えないこと。
3. 開封時にアルミキャップの切断面で手指を切るおそれがあるので、注意すること。
(箱に関する注意)
1. ワクチン注後後は、飼育管理に十分に注意し、鶏に与えるストレスの軽減に努めること。
2. 副反応が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

(取扱いに関する注意)
1. 一度開封したワクチンは速やかに使用すること。使い残りのワクチンは雑菌の混入や効力低下のおそれがあるので、使用しないこと。
2. 注射部位は消毒し、注射時には注射針が血管に入っていないことを確認してから注射すること。
3. 雑菌による汚染を防ぐため、時々注射針を取り替えること。

(その他の注意)
本剤はシードロットシステムにより製造され、国家検定を受ける必要のないワクチンであるため、容器又は被包に「国家検定合格」と表示されていない。

薬理学的情報等
薬効薬理：135日齢の採卵鶏にワクチン1羽分を脚部筋肉内に注射し、ワクチン注射7週間後に培養液を用いて実験感染試験を実施した。その結果、非注射対照群の産卵率は感染の適日齢ピークに遅く低下したのに対し、ワクチン注射群では全羽ほぼ正常に産卵し、産卵率の低下もほとんど見られなかった。

包装：1本 250mL

製品情報お問い合わせ先
日生研株式会社 製品係 〒198-0024 東京都青梅市新町9丁目2221番地の1
TEL 0428-33-1009 FAX 0428-31-6696

製造販売元：日生研株式会社 東京都青梅市新町9丁目2221番地の1
獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると思われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記「製品情報お問い合わせ先」に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所(<http://www.maff.go.jp/val/iyakutou/fukusayou/sousei/index.html>)にも報告をお願いします。

日生研株式会社 東京都青梅市新町9丁目2221番地の1